

千葉医学会 奨励賞 受賞者一覧

回数	年度	氏名	研究課題名
第1回	2009年度	川口 憲治	ギネシン分子モーターの1分子顕微解析による神経変性メカニズムの解明
		澤井 撰	プロテオミクスを用いた神経免疫疾患活動性マーカーの網羅的解析
		古賀 俊輔 BCRC 最優秀賞	BHD遺伝子異常に起因する多発性肺嚢胞疾患の病理-反復性気胸に対する新たな洞察
第2回	2010年度	鶴沢 顕之	視神経脊髄炎及び多発性硬化症の病態の解明
		上原 雅恵	320列マルチスライスCTを用いた循環器疾患の新しい臨床診断の開発
		藤本 真徳 BCRC 最優秀賞	スタチンによる心房細動のアップストリーム治療開発の基盤研究
第3回	2011年度	清水 逸平	心不全発症進展に対するインスリンシグナルの関与に関する研究
		中村 順一	全身性エリテマトーデスにおけるステロイド性大腿骨頭壊死の病態解明と予後予測
		森谷 純治	神経-血管ガイダンス分子を標的とした血管新生制御機構の解明と新たな血管再生治療の開発
		木下 大輔 BCRC 最優秀賞	早老症であるHutchinson-Gilford progeria syndromeにおける動脈硬化性疾患の原因解明
第4回	2012年度	小野寺 淳	免疫系におけるエピジェネティック機構の解明と応用
		鈴木 英一郎	肝細胞癌における全身化学療法の研究 -臨床試験の導入および幹細胞をターゲットとする治療法の開発-
		和泉 允基 BCRC 最優秀賞	ラット坐骨神経圧挫モデルの疼痛行動と脊髄グリア活性に対する抗p75受容体（神経栄養因子受容体）抗体投与の効果
第5回	2013年度	島田 斉	分子イメージングによる変性性認知症の病態解明
		宮城 正行	慢性腰痛メカニズム解明と、新規治療開発に関する研究
		藤井 早紀子 BCRC 最優秀賞	家族性ALSの原因遺伝子FUS/TLSに対する新規治療薬の可能性
第6回	2014年度	尾畑 佑樹	腸内細菌によるエピゲノム修飾を介した腸管免疫制御メカニズムの解明
		木下 崇	頭頸部扁平上皮癌において癌抑制型microRNAが制御する癌転移メカニズムの解明
		岩崎 龍太郎 BCRC 最優秀賞	ラット腕神経叢引き抜き損傷モデルにおけるC3-T4髄節の脊髄後角のグリア細胞活性
第7回	2015年度	小澤 公哉	マルチモダリティを用いた新しい非侵襲的循環器画像診断法の開発
		田中 繁	Sox分子によるヘルパーT細胞分化制御機構の解明
		西織 浩信 BCRC 最優秀賞	カプサイシン椎間板内投与による疼痛刺激がもたらす神経系賦活化への影響

千葉医学会 奨励賞 受賞者一覧

回数	年度	氏名	研究課題名
第8回	2016年度	五島 悠介	治療抵抗性前立腺癌・新規治療法開発に向けた機能性RNA分子ネットワークの解明
		足立 明彦	重粒子線治療後に誘発された海綿状血管腫症例および骨肉腫症例の変異様式解明と新規原因遺伝子の探索
		大野 吉史 BCRC 最優秀賞	ベンゾイミダゾール誘導体C299-1による癌細胞傷害機序の解析
第9回	2017年度	吉永 尚紀	抗うつ薬抵抗性の社交不安症（対人恐怖症）に対する認知行動療法の効果研究
		黒住 顕	癌抑制型マイクロRNAにより制御される癌転移促進機構（LOXL2/ITGB1）の解明
		鈴木 敏夫	難治性呼吸器疾患における血管病変とその再生機構に関する研究
		河野 健太 BCRC 最優秀賞	The role of IL-21 signaling in a murine model of psoriasis induced by epicutaneous administration of Imiquimod
第10回	2018年度	杉山 淳比古	MRIを用いた神経疾患の診断とネットワーク解析による病態解明
		越塚 慶一	マイクロRNA発現解析に基づく頭頸部扁平上皮癌治療標的分子の探索
		齋藤 佑一	冠動脈疾患における包括的検討：解剖学的評価から機能・生理学的評価まで
		菅原 ゆたか BCRC 最優秀賞	メトトレキサート(MTX)標的遺伝子の網羅的探索
第11回	2019年度	中川 拓也	DNAメチル化とHPV感染による中咽頭癌の層別化と発癌機構の解明
		新井 隆之	機能性RNA解析に基づく去勢抵抗性前立腺癌・ドラッグリポジショニングの展開
		杉田 明穂 BCRC 最優秀賞	母体の妊娠中体重増加量と臍帯における肥満関連遺伝子のDNAメチル化
第12回	2020年度	加藤 賢	大規模国際レジストリーを用いたたこつぼ症候群の臨床像、予後、及び病態の解明
		山田 康隆	網羅的マイクロRNA発現解析を起点とした腎癌治療抵抗性メカニズムの解明と新規治療標的分子の探索
		竹野 有加里 BCRC 最優秀賞	p53野生型がん細胞株に特異的に高い抗がん活性を有する新規化学合成化合物
第13回	2021年度	松田 周一	特発性肺線維症の病態解明
		森尾 花恵	ヒトL型アミノ酸トランスポーター2の機能制御機構におけるプロテインキナーゼCの役割の解明
		藤井 貴大 BCRC 最優秀賞	EBV陽性バーキットリンパ腫におけるエピゲノム異常の解析
第14回	2022年度	小野 亮平	心不全・心筋症・循環器希少疾患における病態生理の解明及び抗凝固薬の個別化医療への応用
		土屋 流人	骨軟部肉腫新規治療法開発に向けた患者由来肉腫細胞株の樹立
		古木 直人 BCRC 最優秀賞	プロテオミクスによるMDM2が制御するフェロトーシスの分子基盤の探索
		菊地 創太 BCRC 最優秀賞	Catalytic and non-catalytic functions of histone methyltransferase SETD1A in diseases

千葉医学会 奨励賞 受賞者一覧

回数	年度	氏名	研究課題名
第15回	2023年度	白井源紀	大規模検診コホートをを用いた、環境因子やエピゲノム異常と消化器病リスクとの関連の探索
		八島聡美	心臓CTを用いた左室心筋障害の新しい定量評価による予後予測法の確立
		上野達矢 BCRC 最優秀賞	2つの制御性T細胞による生体恒常性維持機構
		野口駿成 BCRC 最優秀賞	膠芽腫幹細胞に対する治療戦略の再構築
第16回	2024年度	石川絢一	IL-17産生 $\gamma\delta$ T細胞の分化・増殖と自己免疫疾患病態形成におけるIL-21の役割
		山崎達朗	冠動脈疾患における多角的な生理学的評価の検討
		北島真綾 BCRC 最優秀賞	p53野生型がん細胞に高い細胞死誘導効果を有する新規化合物の作用機序の解明
		神津隆之介 BCRC 最優秀賞	Cytotoxic CD4+ T cellの分化制御機構について

* 研究課題名は受賞研究内容へリンクしています（課題名と論文タイトルは必ずしも同じではありません）